

[illegible]

4-1

外壁改修工事
コンクリート打放し仕上げ外壁

1 施工数量調査

調査範囲 ※躯体コンクリート面及びモルタル面 ・図示の範囲 [1.5.2]
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。
ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
調査報告書の部数 ※2部

2 ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入口量(cc/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※200～300	※100	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（低粘度形又は中粘度形）
検査（コア採取） ※行わない ・行う（採取部への補修方法 ） [4.3.4]

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]
シーリング用材料
※Ⅰ成分形又はⅡ成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
シール工法用材料
※バテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ・ポリマーセメントモルタル

3 欠損部改修工法

※充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
充填工法用材料
※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル

4-2

外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ外壁

1 施工数量調査

調査範囲 ※既存モルタル面 ※躯体コンクリート面 ・図示の範囲 [1.5.2]
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。
ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
調査報告書の部数 ※2部

2 既存モルタル塗りの撤去

・行う（全面 ・図示の範囲）

③ ひび割れ部改修工法

・既存モルタル撤去工法（範囲は図示 撤去部分の補修は、4．欠損部改修工法による） [4.1.4][4.4.5]
※樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入口量(cc/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※200～300	※100	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（低粘度形又は中粘度形）
検査（コア採取） ※行わない ・行う（採取部への補修方法 ） [4.3.4]

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]
シーリング用材料
※Ⅰ成分形又はⅡ成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う

・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
シール工法用材料
※バテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ・ポリマーセメントモルタル

④ 欠損部改修工法

・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7][4.4.7][4.4.8]
充填工法用材料
※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7][4.4.7][4.4.8]
塗厚が25mmを超える場合の補強 ※行わない ・行う
既製目地材 ・適用する（形状：図示） [4.2.2]

5 浮き部改修工法

[4.1.4][4.4.9]～[4.4.15][表4.4.3][表4.4.4]

改修工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2)		注入口の数(箇所/m2)		充填量・注入量(/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※50ml
ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・充填工法	-	-	-	-	-
・モルタル塗替工法	-	-	-	-	-

ポリマーセメントスラリー製造所 [4.2.2]
アンカーピンの材質 [4.2.2]
※ステンレス(SUS304) 呼び径4mm丸棒 全ネジ切り加工
・
注入口付アンカーピンの材質 [4.2.2]
※ステンレス(SUS304) 呼び径6mm（外径）
・

4-3

外壁改修工事
タイル張り仕上げ外壁

1 施工数量調査

調査範囲 ※既存タイル面 ※躯体コンクリート面 ・図示の範囲 [1.5.2]
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。
ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
浮き部分を壁面に表示する。また、タイル張りの欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
調査報告書の部数 ※2部

2 既存タイル塗りの撤去

・行う（全面 ・図示の範囲）
撤去範囲 ・下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ

3 ひび割れ部改修工法

改修箇所 ※既存タイル張り面
・既存タイル撤去面（コンクリート面 モルタル面）
※樹脂注入工法 [4.1.4][4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入口量(cc/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※200～300	※100	

注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（低粘度形又は中粘度形）
検査（コア採取） ※行わない ・行う（採取部への補修方法 ） [4.3.4]

・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]
シーリング用材料
※Ⅰ成分形又はⅡ成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う

・タイル部分張替え用接着剤 [4.1.4][4.2.2][4.5.8]
※ポリマーセメントモルタル ・エポキシ樹脂 ・ウレタン樹脂 ・シリコーン樹脂
・タイル張替え工法の準備調整目地及びひび割れ誘発目地 ※[表4.5.1]による ・図示 [4.5.8][表4.5.1]

4 欠損部改修工法

[4.1.4][4.4.10]～[4.5.15][表4.4.3][表4.4.4]

改修工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2)		注入口の数(箇所/m2)		充填量・注入量(/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定方法	-	-	-	-	-
・タイル部分張替え工法	-	-	-	-	-

5 浮き部改修工法

[4.1.4][4.4.10]～[4.5.15][表4.4.3][表4.4.4]

改修工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2)		注入口の数(箇所/m2)		充填量・
---------	-----------------	--	--------------	--	------

内装改修工事	14 軽量シャッター	開閉形式 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない 製造所	13 ビニール床シート張り	※接着剤のホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。 [6.8.2][6.8.3]	22 壁紙張り	種類 記号 厚さ (mm) ・規格等 ・木毛セメント板 ・15 ・20 ・25 ・ミディアムデンシティファイバーボード MDF ・15 ・20 ・25 ・パーティクルボード ・15 ・20 ・25 ・メラミン樹脂化粧板 ・3 ・ロックウール吸音ボード1号60K ・25 ・グラスウール吸音ボード2号32K ・25 ・50 ・穴あきせっこうボード ・9.5 ・フレキシブルボード ・4 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ・アクリル系シーリング材 ・ウレタン系シーリング ・ジョイントコンパウンド ボード類の下地 ○軽量鉄骨下地 木造下地 ・	4 各種塗料塗り	[7.4.1]～[7.15.2][表7.4.1]～[表7.15.1]	塗装の種類 下地の種類 工程の種別 ・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) ・木部 ※A種 ※B種 ・C種 ・鉄鋼面 ・A種 ※B種 ・C種 ・重鉛めっき鋼面 ※A種 ※B種 ・C種 ・クリヤーラッカー塗り (CL) ・木部 ・A種 ※B種 ・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE) ・鉄鋼面・重鉛めっき鋼面 ・コンクリート面・モルタル面 ・A種 ※B種 ・鉄鋼面・重鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 ・C種 ・重鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 ・C種 ・コンクリート面・ECP面 ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 ・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) ・コンクリート面・モルタル面 ・プラスター面・ボード面 ・屋内木部 ※A種 ※B種 ・C種 ・屋内鉄鋼面 ・A種 ※B種 ・C種 ・屋内重鉛めっき鉄鋼面 ・A種 ※B種 ・C種 ○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) ○ボード面 ○A種 ※B種 ・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) ・A種 ・B種 ・C種 ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ・木部 ・A種 ※B種 ・ラッカーエナメル塗り (LE) ・木部 ・A種 ※B種 ・オイルステイン塗り (OS) ・木部 ・木材保護塗料塗り (WP) ・木部		
		開閉形式 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 [5.11.2][5.11.3][5.11.4][表5.11.1] 耐風圧強度 ・50 ・65 ・80 スラットの材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミ ガイドレール ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・SUS304 スラットの形状 ・インターロック型形 ・オーバーラッピング形 製造所	14 ビニール床タイル張り	※接着剤のホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。 [6.8.2][6.8.3]		種類 記号 厚さ (mm) ・半硬質コンポジション床タイル CT ※2.5 ・2.0 ・軟質コンポジション床タイル CST ・ホモジニアス床タイル HT ※3.0 表層透明ビニール層0.5mm					
		15 オーバーヘッドドア	セクション材 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ [5.12.2][5.12.3] 耐風圧強度 ・50 ・65 ・80 開閉形式 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式 ※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 ガイドレール ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・SUS304 製造所 ・スプリング・ワイヤー交換 ・フロート板ガラス ・磨き板ガラス ・フロストガラス [5.13.3] ・型板ガラス ・網入り磨き板ガラス ・網入り型板ガラス ・線入り磨き板ガラス ・合わせガラス ・強化ガラス ・型板強化ガラス ・防音合せガラス ・熱線吸収板ガラス ・複層ガラス ・熱線反射ガラス ・倍強度ガラス ・ガラスブロック ガラス留め材(アルミプレート留め材) アルミニウム製建具 ・シーリング材 ※ガスケット 鋼製（軽量鋼製）建具 ※シーリング材 ステンレス製建具 ※シーリング材 木製建具 ※パテ（木製用） 熱線反射ガラスの映像調整	15 特殊機能床材	・帯電防止床シート ・帯電防止床タイル [6.8.2]	高さ (mm) ※60 ・75 ・100 ・300（階段用をカット） [6.8.2] 厚さ (mm) ※1.5 ・2.0					
		16 ガラス	17 カーペット敷き	※接着剤のホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。 [6.9.2][6.9.3][表6.9.2] ・織じゅうたん 種別 ・A種 ・B種 ・C種 パイル形状 ・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用 色柄 ※単一色（無地） ・柄物（標準品） 帯電性 ※人体帯電圧3kv以下 ・タフテッドカーペット パイル形状 種別 厚さ (mm) 帯電性 ・カットパイル ※5～7 ※全面接着工法 ※人体帯電圧3kv以下 ・マルチレベルループ ※4～6 ※グリッター工法 ・レベルループパイル ※4 ・カット、ループ併用	種類 記号 厚さ (mm) 工法 帯電性 ・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ ・防滑仕上げ ・天然石入無黄変ウレタン樹脂系塗床 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・防塵塗装 ※平滑仕上げ (水性アクリル系防塵塗装)						
内装改修工事	1 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 [6.1.3] 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示の範囲 [6.1.3] 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま [6.1.3] ・図示の範囲	18 合成樹脂塗床	※塗床に使用する塗料のホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。 [6.10.2][6.10.3][表6.10.3]～[表6.10.8]	7 塗装改修工事 ① 材料 ② 下地調整 3 錆止め塗料塗り [7.3.2][7.3.3][表7.3.1]～[表7.3.4]	種類 仕上げの種類 ・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ ・防滑仕上げ ・天然石入無黄変ウレタン樹脂系塗床 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・防塵塗装 ※平滑仕上げ (水性アクリル系防塵塗装)	8 耐震改修工事 (構造特記による)	1 鉄筋	鉄筋の種類 [8.2.1][表8.2.1] 規格 種別 呼び名 ※JIS G3112 ・SD295A D16以下 鉄筋コンクリート用鋼棒 ・SD345 D19以上 ・SD390 ・SR235		
		2 既存床の撤去並びに下地補修		ビニール床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） [6.2.2] ・下地モルタルとも（※図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗り床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 [6.2.2] 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内		19 フローリング張り				※複合フローリングのホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。 [6.11.2]～[6.11.7][表6.11.1]～[表6.11.5] ※接着剤のホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。	種別 樹種 工法 仕上げ塗装 単 ・フローリングボード ※なら ※ウレタン樹脂ワニス塗り 層 ・フローリングブロック ・ひのき ・釘留め工法 ・オイルステイン塗り ・モザイクパーケット ・接着工法 ・生地のままワックス塗り ・塗装無し 複 ・複合1種フローリング 合 ・複合2種フローリング ・複合3種フローリング
		3 既存壁の撤去並びに下地補修		間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.4.8] ※図示 ・モルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補修 ※行う ・行わない）						※複合フローリングのホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。 [6.11.2]～[6.11.7][表6.11.1]～[表6.11.5] ※接着剤のホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。	種別 樹種 工法 仕上げ塗装 単 ・フローリングボード ※なら ※ウレタン樹脂ワニス塗り 層 ・フローリングブロック ・ひのき ・釘留め工法 ・オイルステイン塗り ・モザイクパーケット ・接着工法 ・生地のままワックス塗り ・塗装無し 複 ・複合1種フローリング 合 ・複合2種フローリング ・複合3種フローリング
	4 既存天井の撤去並びに下地補修	既存下地材を再使用 [6.4.2]	※複合フローリングのホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。 [6.11.2]～[6.11.7][表6.11.1]～[表6.11.5] ※接着剤のホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。	種別 樹種 工法 仕上げ塗装 単 ・フローリングボード ※なら ※ウレタン樹脂ワニス塗り 層 ・フローリングブロック ・ひのき ・釘留め工法 ・オイルステイン塗り ・モザイクパーケット ・接着工法 ・生地のままワックス塗り ・塗装無し 複 ・複合1種フローリング 合 ・複合2種フローリング ・複合3種フローリング							
	5 木下地等	木材の品質 ※[6.5.2]による。 ・市販品 [6.5.2][表6.5.2][表6.5.3] 樹種 ※下表による。 ・代用樹種を適用しない箇所 () 使用部位 樹種 造作材 額縁・縁板・開口枠・建具枠 テラ 下地材 ツガ	20 畳敷き	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 [6.12.2][表6.12.1]		種別 樹種 工法 仕上げ塗装 単 ・フローリングボード ※なら ※ウレタン樹脂ワニス塗り 層 ・フローリングブロック ・ひのき ・釘留め工法 ・オイルステイン塗り ・モザイクパーケット ・接着工法 ・生地のままワックス塗り ・塗装無し 複 ・複合1種フローリング 合 ・複合2種フローリング ・複合3種フローリング					
	6 集成材等	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.2]	② 石こうボード、その他ボード及び合板張り	※パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。 [6.13.2][表6.13.1] ※接着剤のホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。		種類 記号 厚さ (mm) ・規格等 ○せっこうボード GB-R ・9.5 ○12.5 ・シージングせっこうボード GB-S ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード GB-F ・12.5 ・15 ・化粧せっこうボード GB-D ・9.5 ・化粧せっこうボード（木目） ・9.5 ・不燃天然木板 ・6 ・ロックウール化粧吸音板 DR ・フラットタイプ（・9 ・12 ・ ） ・キューブタイプ（・12 ・15 ・19） ・ロックウール化粧吸音板（軒天井用） ・フラットタイプ（・9 ・12 ・ ） ・キューブタイプ（・12 ・15 ・ ） ・無石棉珪酸カルシウム板 ・4 ・顔料練込硬質セメント板 ・5 ・不燃積層せっこうボード GB-NC ・9.5					
	7 床張り用合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.2]		※パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。 [6.13.2][表6.13.1] ※接着剤のホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。		種類 記号 厚さ (mm) ・規格等 ○せっこうボード GB-R ・9.5 ○12.5 ・シージングせっこうボード GB-S ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード GB-F ・12.5 ・15 ・化粧せっこうボード GB-D ・9.5 ・化粧せっこうボード（木目） ・9.5 ・不燃天然木板 ・6 ・ロックウール化粧吸音板 DR ・フラットタイプ（・9 ・12 ・ ） ・キューブタイプ（・12 ・15 ・19） ・ロックウール化粧吸音板（軒天井用） ・フラットタイプ（・9 ・12 ・ ） ・キューブタイプ（・12 ・15 ・ ） ・無石棉珪酸カルシウム板 ・4 ・顔料練込硬質セメント板 ・5 ・不燃積層せっこうボード GB-NC ・9.5					
	8 接着剤	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.2] ※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。		※パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。 [6.13.2][表6.13.1] ※接着剤のホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。		種類 記号 厚さ (mm) ・規格等 ○せっこうボード GB-R ・9.5 ○12.5 ・シージングせっこうボード GB-S ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード GB-F ・12.5 ・15 ・化粧せっこうボード GB-D ・9.5 ・化粧せっこうボード（木目） ・9.5 ・不燃天然木板 ・6 ・ロックウール化粧吸音板 DR ・フラットタイプ（・9 ・12 ・ ） ・キューブタイプ（・12 ・15 ・19） ・ロックウール化粧吸音板（軒天井用） ・フラットタイプ（・9 ・12 ・ ） ・キューブタイプ（・12 ・15 ・ ） ・無石棉珪酸カルシウム板 ・4 ・顔料練込硬質セメント板 ・5 ・不燃積層せっこうボード GB-NC ・9.5					
	9 防霉・防蟻処理	木材保存剤（防霉・防蟻処理）は、非有機リン系とする。 [6.5.2] 防霉・防蟻処理は、工場における加圧式とし、充分に乾燥を行う。但し、現場における加工が生じた場合は、加工した箇所に対して、現場にて木材保存剤を塗布することとする。 防蟻処理を行う箇所は(12.2.8)により、防蟻処理を行う箇所は（ ）とする。	21 石こうボード、その他ボード及び合板張り	※パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。 [6.13.2][表6.13.1] ※接着剤のホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。		種類 記号 厚さ (mm) ・規格等 ○せっこうボード GB-R ・9.5 ○12.5 ・シージングせっこうボード GB-S ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード GB-F ・12.5 ・15 ・化粧せっこうボード GB-D ・9.5 ・化粧せっこうボード（木目） ・9.5 ・不燃天然木板 ・6 ・ロックウール化粧吸音板 DR ・フラットタイプ（・9 ・12 ・ ） ・キューブタイプ（・12 ・15 ・19） ・ロックウール化粧吸音板（軒天井用） ・フラットタイプ（・9 ・12 ・ ） ・キューブタイプ（・12 ・15 ・ ） ・無石棉珪酸カルシウム板 ・4 ・顔料練込硬質セメント板 ・5 ・不燃積層せっこうボード GB-NC ・9.5					
	10 床、壁下地材等	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.2]	11 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋内 ※19 ・25 屋外 ・19 ※25 [6.6.2] 既存の埋め込みインサート ・使用する ○使用しない [6.6.4] あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ○行わない [6.6.4]		種類 記号 厚さ (mm) ・規格等 ○せっこうボード GB-R ・9.5 ○12.5 ・シージングせっこうボード GB-S ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード GB-F ・12.5 ・15 ・化粧せっこうボード GB-D ・9.5 ・化粧せっこうボード（木目） ・9.5 ・不燃天然木板 ・6 ・ロックウール化粧吸音板 DR ・フラットタイプ（・9 ・12 ・ ） ・キューブタイプ（・12 ・15 ・19） ・ロックウール化粧吸音板（軒天井用） ・フラットタイプ（・9 ・12 ・ ） ・キューブタイプ（・12 ・15 ・ ） ・無石棉珪酸カルシウム板 ・4 ・顔料練込硬質セメント板 ・5 ・不燃積層せっこうボード GB-NC ・9.5					
	12 軽量鉄骨壁下地	※スタッド・ランナー等の種類は[表6.7.1] による。 [6.7.3] なお、図示位置は50型を使用する。		野縁等の種類 屋内 ※19 ・25 屋外 ・19 ※25 [6.6.2] 既存の埋め込みインサート ・使用する ○使用しない [6.6.4] あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ○行わない [6.6.4]		種類 記号 厚さ (mm) ・規格等 ○せっこうボード GB-R ・9.5 ○12.5 ・シージングせっこうボード GB-S ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード GB-F ・12.5 ・15 ・化粧せっこうボード GB-D ・9.5 ・化粧せっこうボード（木目） ・9.5 ・不燃天然木板 ・6 ・ロックウール化粧吸音板 DR ・フラットタイプ（・9 ・12 ・ ） ・キューブタイプ（・12 ・15 ・19） ・ロックウール化粧吸音板（軒天井用） ・フラットタイプ（・9 ・12 ・ ） ・キューブタイプ（・12 ・15 ・ ） ・無石棉珪酸カルシウム板 ・4 ・顔料練込硬質セメント板 ・5 ・不燃積層せっこうボード GB-NC ・9.5					

